

V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を開放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

1 農業技術の啓発

1) 市民農業講座

地域住民を対象に、毎年4月上旬に開催される展示即売会にあわせ、農業に係わる今日的な話題をわかり易く解説した公開講座を開催している。平成25年度は市民農業講座として以下の講座を開講した。

開催日：4月4日（木）13：00～15：00

講座名：「植物の力 ～自分で手軽にセルフケア～」

講師：鹿児島大学農学部附属農場指宿植物試験場 中野八伯技術職員

2) 韓国慶北道立大学研修受け入れ

対象：韓国慶北道立大学学生

時期：7月1日

内容：日本は和牛を用いた霜降り牛肉生産という特有の牛肉生産を行っている。日本における牛肉生産と和牛の飼養状況現場の見学のため来場した。

3) タイバック大学研修受け入れ

対象：タイバック大学講師，1名

時期：10月9日～19日

内容：国際協力事業団の依頼によりベトナム・タイバック大学の講師に対して、ヤムイモの栽培・繁殖・加工についての講義および実技指導を行った。

4) 鹿屋市認定農業者組織研修会講演

対象：鹿屋市認定農業者，新規就農者

時期：2月21日

内容：認定農業者と新規就農者に対して、今後の農業の動向などについて講演を行った。

5) 佐賀大学技術職員研修受け入れ

対象：佐賀大学技術職員，1名

時期：3月11日～15日

内容：食肉加工技術および黒毛和牛の繁殖技術の研修をした。

2 地域活動に対する支援

1) 八重山高原星物語2013（入来牧場）

対象：一般市民

開催日：8月10日（土）12：00～21：00

内容：八重山高原星物語2013学生運営委員会主催の薩摩川内市の観光復興と地域活性化を目的に国立天文台、鹿児島大学理学部・農学部をはじめNPOや地元関係者の協働による、「宇宙と自然環境イベント」を開催することにより、宇宙や科学、自然環境への興味や関心を深める。

3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

1) お芋ができるまで（学内農場農事部）

対象：めぐみ幼稚園，園児46名，教師11名

時期：5月：芋の苗植え，10月：芋掘り

内容：自然とかけ離れた環境で育った園児に、土にまみれてサツマイモを育てることを介して、自然と食に興味

を持つようにする。5月にサツマイモの苗植え、10月に収穫を行う。

2) 職場体験学習

学内農場農事部

対象：中学生9名

時期：5月14日～16日，11月7日～8日

内容：職場体験学習を通して，農業の内容を知るとともに，働くことの意義や勤労の貴さを実感する。また，養液栽培管理やタマネギ定植を通して農業について知り，食への関心を高める。

唐湊果樹園

対象：中学生4名

時期：11月7日～8日

内容：職場体験学習を通して，農業の内容を知るとともに，働くことの意義や勤労の貴さを実感する。また，果樹の収穫や敷草などの作業を通して食への関心を高める。

3) 鹿児島県立農業大学校校外研修

対象：鹿児島県立農業大学校学生

入来牧場 11名

時期：6月7日

内容：中山間地域における黒毛和種の繁殖から肥育にわたる一環経営の仕組みと現場の見学のため来場した。

指宿植物試験場 11名

時期：7月9日

内容：熱帯果樹類の栽培管理などについて学習を深めた。

4) 未就学児牧場体験受け入れ

対象：未就学児を持つ地域ママさんサークル，25名

時期：8月28日

内容：地域の未就学児を持つママさんサークルからの申込みにより，自然や動物に触れ合う情操教育の一環として，未就学児の牧場体験を実施した。

5) 入来牧場牛肉フェア実行委員会牧場体験受け入れ

対象：鹿児島大学学生（入来フェア実行委員）

時期：9月5日～6日

内容：入来牧場フェアに向けての学生の食育の意識を牧場体験によって培い，体験したことを持ち帰り周りの学生に食育ということを共有した。

6) 入来牧場牛肉フェア

対象：地域住民および鹿児島大学構成員

時期：10月28日～30日

内容：学部横断的食育の啓発，地域住民への入来牧場広報等を目的として，鹿児島大学生協と共同で喫茶イベントおよび牛肉販売を行った。喫茶イベントでは鹿児島大学生協学生委員会のメンバーによるメニュー考案を行い，学生間での食育啓発気運の高まりを促進した。

7) ミカンのふるさと（唐湊果樹園）

対象：鹿児島大学教育学部附属幼稚園，園児70名，教師5名

時期：11月1日

内容：みかん狩りをして，収穫を味わうとともに果樹園の方に感謝の気持ちをもち野山の様子を見たり，草花や虫と触れ合ったりして，秋の自然に親しむ。

4 施設の公開

周辺住民の散策場所として，農場を常時開放するとともに，自治体や団体等が開催するイベントに対して，要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

1) 農場へようこそ (学内農場農事部, 唐湊果樹園)

対象: 一般市民

時期: 随時

内容: 鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は, 農場見学, 俳句読み, 植物採集, 写真撮影, 散策など, 都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては, 癒しの空間として農場を整備し, 市民に開放するとともに, 来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

5 生産物の販売

学生実習に伴って産出される農産物の有効利用を図る観点から, 生産物の展示即売会を下記のような日程で開催している。

1) 農場4施設合同の展示即売会

対象: 一般市民約5,000名

時期: 4月3日(木)~4日(金) 9時~15時

場所: 学内農場の一角にテント張りの特設会場を設営して開催

内容: 実習で生産した米, 野菜, 苗物, 花卉, 観葉植物, 果物, 牛肉など約180品目20,000点を農場職員と学生が一体となって開催する展示販売会である。

2) 農場4施設合同の定期販売会

対象: 一般市民

時期: 毎月, 第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所: 学内農場販売所

内容: 実習で生産した米, 野菜, 苗物, 花卉, 観葉植物, 果物などを販売している。

3) 施設毎の定期即売会

(1) 唐湊果樹園

対象: 一般市民

時期: 毎月, 第1週と第3週の水曜日の昼休み時に開催

場所: 唐湊果樹園

内容: 実習で生産した果物を販売している。

(2) 指宿植物試験場

対象: 一般市民

時期: 毎週月曜日の昼休み時に開催

場所: 指宿植物試験場

内容: 実習で生産した熱帯果実, 観葉植物などを販売している。

4) インフォメーションセンターでの販売

対象: 一般市民

時期: 生産物を出荷できる日に実施

場所: インフォメーションセンター (郡元キャンパス鹿児島大学正門横)

内容: 実習で生産した米, 野菜, 苗物, 花卉, 観葉植物, 果物などを販売している。